



**発行編集** 府中市消防団  
府中市消防団  
広報委員会  
(府中市行政管理部防災危機管理課内)  
TEL 042 - 335 - 4068

**第42号**

### 新体制にあたり

府中市消防団長 横田 実



府中市消防団長 横田 実

府中市消防団は、本年も4月1日(水)に平成27年度入退団式を執り行いました。年度当初のご多忙の中、高野市長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

平成26年度をもちまして退団された22名の方々には、長年にわたる消防団活動に對しまして、心より感謝申し上げます。

そして、今年度もこの入退団式において新たに任命した分団長6名、新入団員17名を迎え、計41名の新体制でスタートすることができました。

さて、昨年8月に広島県で発生した豪雨災害では、土石流により多くの方々が命を奪われ、また多数の被害が発生しました。また、昨年9月には御嶽山の噴火により、登山者57名が犠牲となり、今なお6名が安否不明となっております。これらのことから、改めて自然災害の恐ろしさを感じているところです。この度の災害で、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

幸いにして府中市は、自然災害の被害を受けることなく過ぎていますが、府中市消防団は、市民の生命・身体・財産を守るため、災害防止に努めています。



訓練の様子

毎年5月に実施している合同水防訓練では、大雨や台風を備え、水防工法の技術向上を図るほか、消防訓練所に団員を派遣して専門的な教育を受けさせることにより消防技術向上にも取り組んでいます。

また、秋の火災予防運動期間中には消防設備の点検を行い、歳末には各分団が市内を巡回して地域住民に火災予防を注意喚起するための広報及び出火防止の警戒を行っています。その他にも、各分団では日常の機械装備点検をはじめとするさまざまな訓練を行って、災害に臨むことがなく消防団としての責務を果たすべく活動しているところです。

府中市消防団は、発足61年を迎えました。私たち団員一同は、諸先輩方の積み重ねてきた消防団の歴史の重みを感じるとともに、先代から続く消防団をより発展させ、さらに強靱な消防団として飛躍できるよう精進してまいります。

最後になりますが、分団長や今年度昇格された団員をはじめ各分団の方々には、消防団員の使命を自覚し、府中市の安全・安心の確保に努め、より一層、消防団活動の充実と邁進されるよう心からお願ひ申し上げます。

### 府中市合同水防訓練

平成27年5月24日(日)、押立地区多摩川河川敷において、府中市消防団・府中消防署・府中市・各団体のボランティアなど総勢411名が参加のもと、府中市合同水防訓練が行われました。

この訓練の想定は、東京地方に大型の台風が接近し、府中市は災害対策本部を設置するとともに消防団を招集しましたが、多摩川の増水による越水危険及び床下浸水及び道路冠水被害等が発生しているというものです。

消防団は、①積み土のう工

法②鋼板防護工法③越水防止工法の3つの水防工法を行いました。

とりわけ、鋼板防護工法は、堤防や護岸で越水を防ぐために、垂直に立てた鋼鉄製の板の間に土砂や土のうを入れて水が溢れるのを防ぐ工法であり、長さ10mにわたり工法を実施しました。また、土砂の搬入には府中市建設業協会の重機が登場し、効率的に訓練を行いました。

以上のように、今回の訓練は、水害時における実践即応の現場部隊運用、水防活動技

術の向上及び関係部署の円滑な連携を図り、水防体制の万全を期するものであり、実際の災害時さながらの緊迫した雰囲気で行われました。



### 機関員交通安全講習会

平成27年6月5日(金)、ルミエール府中において府中警察署・府中消防署から講師を招いて機関員交通安全講習会が開催されました。

機関員とは、緊急自動車の運転等を専門に担当し、豊富な交通知識を備えた緊急自動車運行のエキスパートとして活躍している消防団員です。

なお、機関員の訓練としては、この他にも11月に行われる機関員運用訓練があります。

講義の中では、緊急自動車安全運行の意義・心構えから、安全運行の必要事項について様々な事例を交えて講話が

行われました。

緊急自動車の運転には、細心の注意を払う必要があります。どのような点を工夫すれば、より良い運転ができるかなど具体的にアドバイスがいただけたことが参加者には分かりやすかったようです。

また、団員からは、「運転などの活動時の成功例だけではなく、実際の現場のお話を聞けたので、非常に分かりやすく、有意義でした」という感想もありました。

総勢94名の機関員が真剣な表情で講師の方の話に耳を傾け、非常に熱意に満ちた

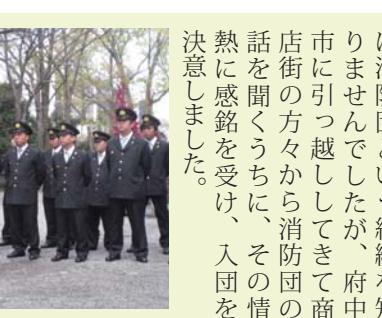
ました。

続いて、入団式が行われ、はじめに昇格された分団長そして新入団員に横田団長から辞令交付が行われました。市長をはじめとする来賓の方々より、長年にわたる責務を果たされた退団者の方々には心からの労いを、新入団員の方々へは今後の活動への期待と激励をいただいた入退団式でした。



### 新入団員教育訓練

平成27年度に第18分団へ入団しました最上竜太郎と申します。出身は鹿児島県奄美大島です。奄美大島に住んでいた頃には消防団という組織を知りませんでした。府中市に引っ越ししてきてから市街の方から消防団の話や消防団の話を聞くうちに、その情熱に感銘を受け、入団を決心しました。



初めての消防団活動が新入団員教育訓練及び規律訓練であり、新しい制服を身にまとい、新しい規律について指導を受けました。事前には先輩から聞き取りました。なかなか上手くできず、難しいなと思いました。今後、引き続き訓練を通して、様々な消防技術を学びたいと思います。

消防団は、市民の生命・身体・財産を守る素晴らしい組織だと聞いており、今年からその一員に加わることができ、誇りを感じています。強い責任感を持ちながら日々の訓練に励みますので、ご指導をよろしくお願い致します。(第18分団 最上 竜太郎)

### 消防ポンプ車入れ替えについて

平成27年2月に新しい消防ポンプ車が第3・13・14分団に配備されました。

新車両では、ホースカーが電動で降りるようになっていたほか、ドライブレコーダー、AED、バックモニターが搭載されています。

今回は、新車両に関する記事第13分団の越智昌弘団員に掲載してもらいました。

新型の消防ポンプ車が配備されてから5か月が経ち、徐々に慣れてきました。まず、配備されたのが、ホースカーがモニターで自動昇降となっていることです。また、デジタル流量計やバックモニターが装備されており、運用面や安全面においても充実しています。

また、AEDも搭載されているため、傷病者を見つけた際には、いち早く救命措置ができると思います。府中市消防団では、毎年救

命講習会が開かれており、AEDの使用方法について学ぶ機会があります。その経験・知識を活かして、救命活動にも取り組みたいと思います。

なお、新車両の配備に伴い、お披露目式を南町八幡神社横の公園にて行いました。当日は高野市長をはじめとする多数の来賓の方々、地域住民の皆様にご出席をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

新型消防ポンプ車の配備により、より迅速で正確な消火活動を行えるようになりました。今後ともさらに努力を重ね、車両の能力を余すことなく活かせるように訓練に励みます。



退団された分団長ご挨拶



前第1分団長 木村 浩二

この3月をもちまして府中市消防団を退団しました。在団中は、地域の皆様をはじめ、消防関係機関の皆様には公私にわたり大変お世話になりました。消防団員として活動した24年間を振り返ると、防火・防災活動以外にも数多くの貴重な経験をさせていただきました。特に押立防災センターの新築は、私にとつ



前第4分団長 小野 新一郎

この度、平成27年3月末で退団いたしました。第4分団の先輩、現役団員の皆様、本団、各分団、防災危機管理課、消防関係者の方々には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。入団以来、様々な体験をしました。特に分団長としての3年間はとても貴重な経験になりました。近年、東日本大震災を始め、各地で大きな災害が起きています。幸い



前第6分団長 古川 博文

在任中は地域の皆様をはじめ大勢の方々のご指導、ご協力をいただき、23年間の消防団活動を務めあげられたことをとても感謝いたしております。分団長としても3年間、地域の安心・安全を守るために団員一丸となって、地域の防人として活動できたことがとても嬉しく、良い思い出になりました。本団に消防団活動を通して、多くのの方々を知り合い、素晴らしい仲間ができました。



前第9分団長 金子 裕一

府中市消防団に入団してから26年と長きに渡り活動してきました。この3月末をもって退団しました。入団当初は右も左も分からず不安で一杯でしたが、関係各機関の皆様にご指導いただいたお蔭でここまで続けることができました。また、OBの方々のご協力により、大過なく団員活動が務められたことを心より御礼申し上げます。入団以来、多くのの方々との出会いがあり、得ることの多かった消防団活動でした。



前第12分団長 藤村 通哉

最後の3年間は、分団長に就きましたが、その活動は大変なものでした。しかし、それを上回る喜びや楽しさも沢山あり、そして職業や年齢に関わらず、消防団生活18年間を無事に終えることが出来ました。



前第16分団長 市川 智嗣

在団中は、消防団関係の皆様をはじめ、地域の皆様のご指導、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。特に、分団長としての2年間は、忙しく大変な思いもしましたが、分団員の協力に恵まれ、本団の方々、

消防団幹部紹介 (団本部)

平成27年4月1日現在



副団長 中田 和夫 (昭和60年4月1日入団 団歴28年)
副団長 志村 誠 (平成元年4月1日入団 団歴26年)
副団長 堀江 一男 (平成7年4月1日入団 団歴20年)
副団長 小場 淳吾 (昭和57年4月1日入団 団歴31年)
副団長 大久保 幸一 (昭和58年4月1日入団 団歴31年)
副団長 本間 郁浩 (昭和63年4月1日入団 団歴26年)
団長 横田 実 (昭和52年4月1日入団 団歴38年)

(分団長)



第9分団長 菊池 伸明 (平成9年4月1日入団 団歴18年)
第8分団長 坂本 満博 (平成7年4月1日入団 団歴20年)
第7分団長 栗林 徹 (平成7年4月1日入団 団歴20年)
第6分団長 比留間 康夫 (平成10年4月1日入団 団歴17年)
第5分団長 村井 雅一 (平成5年4月1日入団 団歴22年)
第4分団長 田中 秀彰 (平成13年4月1日入団 団歴14年)
第3分団長 丸茂 利矢 (平成6年4月1日入団 団歴21年)
第2分団長 戸塚 良啓 (平成14年4月1日入団 団歴13年)
第1分団長 粕川 幸貴 (平成12年4月1日入団 団歴15年)



第18分団長 坂本 裕康 (平成8年4月1日入団 団歴19年)
第17分団長 丸山 剛 (平成7年4月1日入団 団歴20年)
第16分団長 市川 長司 (平成11年4月1日入団 団歴16年)
第15分団長 谷合 祥生 (平成4年4月1日入団 団歴23年)
第14分団長 松本 幸次 (平成4年4月1日入団 団歴23年)
第13分団長 平野 要 (平成7年4月1日入団 団歴20年)
第12分団長 粕谷 和男 (平成7年4月1日入団 団歴20年)
第11分団長 小園井 洋平 (平成6年4月1日入団 団歴21年)
第10分団長 青島 章 (平成3年6月1日入団 団歴23年)

勤続4年以上で退団された皆さん

- 12年以上 (16名)
第1分団 木村 浩二
第4分団 小野 新一郎
第6分団 加藤 新一
第9分団 金子 裕一
第9分団 本多 裕博
第10分団 石川 健一
第11分団 田中 慎吾
第12分団 藤村 通哉
第12分団 河合 徳人
第13分団 高野 信一
第13分団 朝倉 直次
第14分団 鴨下 大介
第16分団 市川 智嗣
第17分団 阿部 智豊
第18分団 柳沼 篤智

平成27年度新入団員の方々

- 第1分団 遠藤 泰司
第2分団 中野 直紀
第4分団 加藤 泰裕
第4分団 山田 辰徳
第6分団 鈴木 成典
第6分団 池田 伊平
第9分団 関谷 亮平
第9分団 渡邊 真宏
第10分団 鎌内 樹宏
第10分団 奥井 正悟
第11分団 奥井 樹一
第12分団 田中 浩一
第13分団 齋藤 優一
第13分団 高野 貴志
第14分団 末吉 大樹
第18分団 最上 裕希

編集後記

61年もの長い歴史がある府中市消防団で広報委員の一員として携われることに喜びを感じるとともに、大きな責任も感じています。諸先輩方と共に日頃の訓練、火災予防活動等を通じて、地域の皆様との交流を深めていき、消防団ならではの活動をご紹介できればと思います。



広報委員会名簿

Table with columns for Division, Chairman, and Member Name. Includes: 会長 横田 実, 副会長 小場 淳吾, 第1分団 堀江 一男, 第2分団 石川 将人, 第3分団 榎本 哲児, 第4分団 比留間 正吉, 第5分団 加藤 泰裕, 第6分団 河内 辰徳, 第6分団 堀江 成典, 第7分団 榎本 慎一郎, 第7分団 岡部 貴紀, 第8分団 林 耕多郎, 第8分団 加辺 良輔, 第10分団 石田 一博, 第11分団 廣瀬 良太, 第17分団 鈴木 祐太, 第16分団 小松原 哲雄, 第12分団 石坂 祐太, 第13分団 越智 昌弘, 第15分団 相澤 秀吉, 第18分団 稲村 幸一